

加古川市農地利用最適化推進委員候補者の推薦状況（法人又は団体による推薦）【最終公表】

【推薦の状況】 ※法人等の推薦による推進委員候補者の分類記号……推団

整理 番号	被推薦者（推薦を受ける者）										推薦者（推薦をする者） （法人・団体）					被推薦者の担い手への農地利用の集積・集約 化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促 進などについての考え方	
	氏名	性別	年齢 （才）	職業	経歴		農業経営の状況			推薦する 区域	（法人・団体）						
					年月日	職名・役職等	営農 年数	営農 類型	耕作 面積 （a）		法人（団体） の 名称	法人（団体） の代表者等	活動の 主たる目的	構成員 の数 （人）	構成員の 資格・要件		推薦の理由
推団1	コウダ クニヒロ 好田 邦弘	男	67	農業	昭和52年より47年間 2年間 4年間	近畿農政局に勤務 志方町水利組合役員 東町町内会副会長	30	露地野 菜	16	第6区	志方町水利組 合	水利組合長 竹中 英典	志方町志方町地内 の農業水利運営を 目的とする	300	志方町志方町地 内に水田を所有 する者	被推薦者は、地元生まれ近畿農政局に勤めておられた関係で、農業経営者の高齢化や遊休農地の増加が進む状況もよく理解しておられます。また、最近まで町内会の役員を務められ、温厚で明るい性格は農家からも非農家からも信頼されています。これからの農地利用に関し、非農家の参画や説得等の必要がある場合には、大きな力になるものと考え、推薦させていただきます。	長年問題とされてきた農業者の高齢化と担い手不足について、有効な解決策が進んでいない。大きな営農組織のある集落では、機械化が進み農地も集約されて営農がなされているが、ここでも担い手不足が問題となっている。営農組織がない集落では、同上の問題が深刻で遊休農地の増加が止まらないのが現状である。農地バンク等の対策も、周知不足や理解不足等により進んでいないように思う。私に何ができるかわかりませんが、少しでも今後の農業問題解決について農地利用最適化推進委員として取り組みたいと思います。